

未来につなぐ、私たちのストーリー

皮革・レザーは歴史と実績の浅草革屋フジトウ



街の鼓動に敏感です

朝日信用金庫

2026年3月31日

「サステナビリティ・リンク・ローン」による融資契約締結について

朝日信用金庫（本部 東京・千代田区／理事長 伊藤康博、以下「当金庫」）は、持続可能な地域社会の実現と、お客さまの脱炭素経営への取り組みに貢献するため、2026年3月31日（火）に以下の事業者さまと「サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「SLL」）」の契約を締結したことを、お知らせいたします。

当金庫では今後も、持続可能な地域社会の実現に金融面から貢献するため、さまざまな金融サービスを通じて、お客さまのニーズにお応えできるように努めてまいります。

【企業概要】

事業者名	フジトウ商事株式会社
代表者名	谷口 総
本店所在地	東京都台東区浅草6-21-12
事業内容	皮革素材および皮革製品の販売、加工、製造、卸売
設立	1962年7月
会社HP	https://www.fujitou.co.jp

【契約概要】

契約日	2026年3月31日（火）
取扱店	浅草支店：東京都台東区浅草4-49-12
KPI	当社におけるCO ₂ 排出量の削減率（Scope1+Scope2）
SPT	CO ₂ 排出量の削減
フレームワーク	朝日信用金庫サステナビリティ・リンク・ローンフレームワーク （株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得）

SLLとは、事前に定めた重要な評価指標（KPI）に対して、野心的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）を設定し、SPTの達成状況に応じて金利が変動する融資商品です。朝日信用金庫のSLLは、お客さまとともに「脱炭素（カーボンニュートラル）」を目指していくため、KPIを「CO₂排出量の削減率」、SPTを「CO₂排出量の削減」として設定し、その達成状況に応じて金利が変動する仕組みとしています。

なお、朝日信用金庫が策定したサステナビリティ・リンク・ローンフレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ関連の原則等に整合しているとの評価を得ています。

事業者の「想い」

「あらゆる人に、あらゆる革を」届けること。
尊い命を無駄にせず、「環境循環型皮革」を実現すること。

私たちは東京・浅草の地で1921年に創業して以降、
100年以上にわたってこの二つを目指してきました。

あらゆる命を大切に、そのためにも地球環境を守ること。

その使命を胸に、今度は脱炭素にも取り組んでまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【 事業者さま（以下、「当社」）について 】

当社は1921年に東京・浅草で皮革商として創業。以降は100年以上にわたって天然皮革素材および天然皮革製品の販売、加工、製造、卸売を主業としてきました。お客さまの様々なニーズに対応するため、希少な特殊素材なども含めた、あらゆる種類の皮革を豊富に取り扱うことで、お客さまから「困ったときのフジトウ」と評価していただけるほどの厚い信頼関係を構築してきました。

<当社の基本理念>**「あらゆる人に、あらゆる革を」**

当社の1階は皮革業界では珍しく、小売店舗となっています。お取引のない方や学生の方、レザークラフトを趣味とされている方などが「気軽に立ち寄り、手に取りやすい店舗」を目指しています。また2階の常設のショールームでは、これから創業を検討されている方を含めた事業者さま向けに、皮革の素材だけではなく、その皮革からどのような製品が生まれるかをイメージしやすいように、製品のサンプルも展示しています。

「お客さまが納得して使うことが顧客満足度を高める」

当社は「お客さまが皮革の素材を理解し、納得して使用していただくことが、顧客満足度を高める」と認識しています。そのためにベテラン社員のみならず、皮革業界では珍しい20代の若手社員にも皮革に関する深い知識の習得を奨励し、お客さまからいただいた皮革の特徴や加工などに関する質問・疑問に対して、一つひとつ丁寧に応対することで、納得感を高めていただけるように努めています。

「自然を尊び、暮らしに活かす」

北海道では、エゾシカの保護によってその頭数が増えすぎた結果、生態系が崩れるといった「害獣化」という問題が発生したため、定期的な捕獲による生態系の回復に取り組んでいます。当社は、これまで廃棄されていたエゾシカの皮を製品化する取り組みを「環境循環型の皮革」と名付け、このような取り組みを行うことで、「尊い命を無駄にせず、私たちの暮らしに還元する」という「革を扱うものとしての使命」を果たしていきたいと考えています。

「まっとうを紡ぎ、つなぐこと、伝えること」

皮革業界は、生命ある動物たちからいただいた食肉の副産物である「皮」を、余すところなく暮らしに活かすという「皮革業界の事業の価値」についての発信の強化や、高齢化による職人の減少といった点を、課題として認識しています。当社は地元小学生の職場体験を受け入れているほか、当社の店舗やショールーム、展示会等にご来訪いただいたお客さまに対して、皮革業界の社会に対する貢献や、皮から皮革になるまでの工程に携わった職人の方たちの「想い」などを伝えていくことで、皮革業界の事業の価値を伝えるとともに、皮革業界に携わる方が少しでも増えてほしい、ひいては皮革業界の発展に貢献していきたい、と考えています。



【 当社のサステナビリティ方針について 】

当社は、自然環境や生態系が崩れると、多種多様な皮革を取り扱うことが困難となり、当社の基本理念である「あらゆる人に、あらゆる革を」が実現できなくなる可能性があることを認識しています。したがって「豊かな自然環境を守り抜く」ことが、当社や皮革業界の持続的な発展に繋がっていくと考えています。

これまでは「資源の循環」という視点でSDGsの目標を掲げていましたが、新たに「脱炭素」という目標を掲げることで、「地球温暖化の抑制、ひいては持続可能な地域社会の実現に貢献する」ことを明確にしていきたいと考えています。

<気候変動に対する考え方、対策および方針>

当社は、気候変動が引き起こす自然災害は、自社の事業活動にも大きな影響を与える可能性がある重大な課題であるとの認識に基づき、以下の取り組みを進めてまいります。

- ✓CO₂排出量の削減
- ✓エネルギー消費量の削減
- ✓再生可能エネルギーの活用を検討
- ✓環境に関する法令等を遵守

また自社の取り組みを公表していくことで、取引先の方たちの「脱炭素」の取り組みに関する啓発へとつなげていくことも目指しています。

<取り組み目標>

当社は、以下の目標を掲げています。

- ✓長期目標として、2050年度までに「カーボンニュートラル」の達成
- ✓短期目標として、毎年度2.8%以上のCO₂排出量の削減

【 当金庫の評価 】

当社は、S L LにおけるS P Tのほか、自社のサステナビリティ方針において、地球温暖化に対する高い問題意識と、CO₂排出量削減に向けた具体的な対策および取り組み方針も示されています。また、具体的な取り組み目標を掲げており、今後は適時、適切に对外開示されます。

さらに、「環境循環型の皮革」といったサステナブルな取り組みの実績もあり、持続可能な地域社会の実現のために、さまざまな取り組みを加速していくという強い意志が感じられます。

当金庫は、当社の環境課題解決へのお取り組みに敬意を表し、またそのお取り組みに対して貢献するために、S L Lの融資契約を締結いたしました。

今後も当社のお取り組みに貢献できるよう、努めてまいります。

以 上

《 本リリースに関するお問合せ：朝日信用金庫 融資業務部 山本 TEL 03-3862-7929 》